

「専門性の高い技術者資格を活用した 総合評価落札方式の試行」について(業務関係)

新潟会場：H25.7.25

北陸地方整備局 港湾空港部 品質確保室
平成 25 年 7 月

本資料に記載された内容は、今後変更になることもありますので、入札参加の際には、当該業務の入札説明書をご確認のうえ、申請されるようお願い致します。

(1) 現状及び目的

1) 現状

港湾等調査業務発注における配置予定技術者の評価においては、技術士・APECエンジニア・土木学会認定技術者等を上位評価、その他資格を下位評価としていることから、評価の高い技術士での申請が大半を占めている。

2) 目的

技術士等の上位資格及びRCCMIは、港湾及び空港あるいは土木分野全般を対象とした資格であることから、専門性の高い現地調査については、これらの資格を保有した上で、その調査内容に特化した民間技術者資格を活用することによって、一層の品質確保が図られると考え、今回、試行することとした。

1

(2) 今回の試行で活用する専門性の高い資格

- 「港湾海洋調査士」(一社 海洋調査協会)
 - 1) 深浅測量部門
 - 2) 危険物探査部門(磁気探査・潜水探査)
 - 3) 土質・地質調査部門(土質・音波探査)
 - 4) 環境調査部門(水質・底質、生物調査、流況調査)
 - 5) 気象・海象調査部門(気象、波浪、潮位、流況調査)

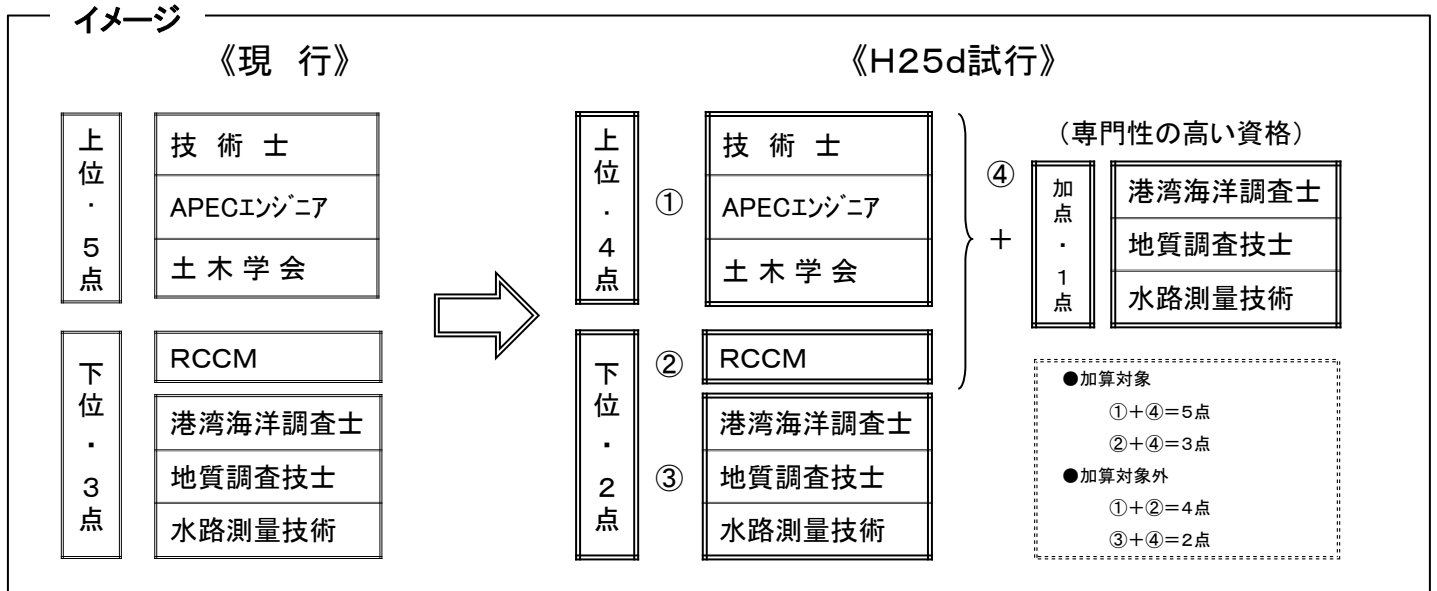
- 「地質調査技士」(一社 全国地質調査業協会連合会)
 - 1) 現場技術・管理部門

- 「水路測量技術」(一財 日本水路協会)
 - 1) 沿岸(1級)
 - 2) 港湾(1級)

2

(3) 評価の考え方

- 1) 全評価項目の配点ウエイトを考慮し、技術者資格以外の評価項目に影響が及ばないよう、現行の技術者資格の評価の満点である5点の範囲内において設定する。
- 2) 現行の配点をすべて1点下げることとし、技術士等の上位資格及びRCCMを保有した上で業務内容に特化した専門性の高い(業務内容に応じて個別に設定)資格を保有している場合に1点加点することとする。
なお、その組合せは、以下のとおりとする。



3

(4) 適用時期

適用時期

H25. 8. 1以降に公示する案件から適用する。